

<カレンダーベース市中発行額>

(単位:兆円)

区分	令和3年度当初				令和3年度補正後				(b)-(a)		
	(1回あたり)		(年間発行額 : a)		(1回あたり)		(年間発行額 : b)				
40年債	0.6	×	6	回	3.6	0.6	×	6	回	3.6	—
30年債	0.9	×	12	回	10.8	0.9	×	12	回	10.8	—
20年債	1.2	×	12	回	14.4	1.2	×	12	回	14.4	—
10年債	2.6	×	12	回	31.2	2.6	×	12	回	31.2	—
5年債	2.5	×	12	回	30.0	2.5	×	12	回	30.0	—
2年債	3.0	×	12	回	36.0	3.0	×	12	回	36.0	—
割引短期国債					83.2					74.0	▲9.2
10年物価連動債	0.2	×	4	回	0.8	0.2	×	4	回	0.8	—
流動性供給入札					11.4					11.4	—
計					221.4					212.2	▲9.2

(表1) 割引短期国債の年限別発行予定額

年限	令和3年度当初	令和3年度補正後	
	(a)	(b)	(b)-(a)
1年	3.5 × 12 回 42.0	3.5 × 12 回 42.0	—
6ヵ月	41.2	32.0	▲ 9.2

(表2) 流動性供給入札のゾーン別発行予定額

区分	令和3年度当初	令和3年度補正後	
	(a)	(b)	(b)-(a)
15.5年超 39年未満	3.0	3.0	—
5年超 15.5年以下	6.0	6.0	—
1年超 5年以下	2.4	2.4	—

(注1) 市場参加者との意見交換を踏まえ、市場環境や発行状況に応じて、発行額を変更する可能性がある。

(注2) 40年債については、5月・7月・9月・11月・1月・3月の発行を予定している。

(注3) 割引短期国債は、政府短期証券と合わせて国庫短期証券として発行しており、表1の年限区分・発行額で発行することを想定しつつ、市場環境や投資ニーズに応じて、柔軟に年限区分・発行回数・発行額を調整。

(注4) 10年物価連動債については、5月・8月・11月・2月の発行を予定し、市場参加者との意見交換を踏まえ、市場環境や投資ニーズに応じて、柔軟に発行額を調整。

(注5) 流動性供給入札については、表2のゾーン区分・発行額で行うことを想定しつつ、市場参加者との意見交換を踏まえ、市場環境や投資ニーズに応じて柔軟に調整。

(注6) 利付債の表面利率の下限の引下げ(0.1%→0.005%)については、令和3年4月から実施。